

取組概要

東雲小学校では、「自分で気づいて進む力を高め、粘り強く、学力を身につけていく児童の育成—共生・自律—」を目指し、単元構想に基づいた個別最適な学びや自律学習、児童会を中心とした自治活動や絆づくりと教師による居場所づくりに取り組んでいる。

工夫・ポイント

【学校マネジメントの工夫】

- ◆校内研修において、4点セットの進捗管理を行うように年間研修計画表を開発し、取組指標に基づく実践の日常化と改善を進めている。
(教務主任、研究主任によるスケジュール管理)
- ◆管理職と教務を中心とした経営会議を週1回行い、各種取組状況の全体を再点検し、軌道修正をかけ続けている。

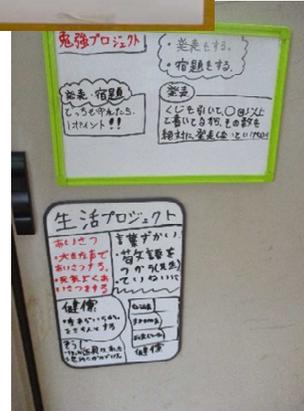
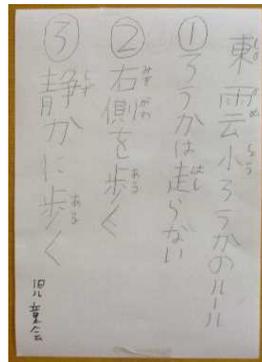
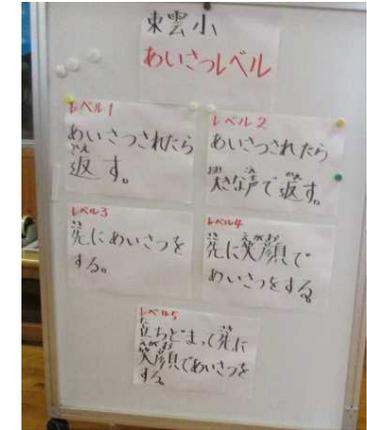
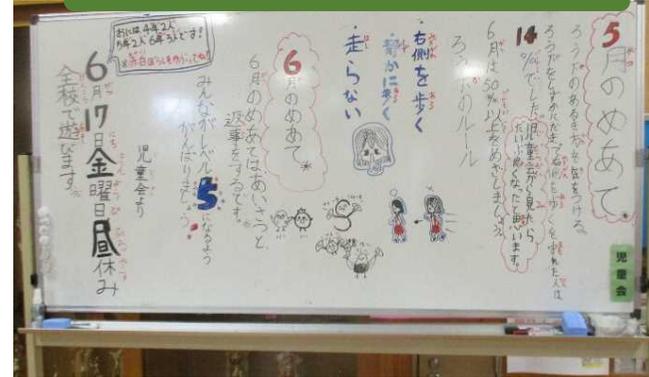
特徴的な活動

- ◆児童会を中心に、学校の重点目標の1つである自己指導能力の向上をめざし、月ごとのめあてを定め、チェックカードによる点検や振り返りを行っている。
- ◆児童一人一人の「個別最適化支援シート」を開発し、児童の特性等をケース会議等で把握するとともに支援方法の共有を図っている。
- ◆個別最適な学びと協働的な学びを具現化するために、複式学級だけでなく単式学級でも、子どもが学習を進行する「ガイド学習」の研究を進めている。

関係者の声

- ◆「あいさつレベル」の具体的な姿を児童が主体的にネット検索で調査し、そのポイントを動画で撮影し、低学年児童にも分かりやすくするなど、児童会がICTを効果的に活用した事例等、随所に工夫が見られた。
- ◆複式学級を持つ学校における指導のあり方のモデルとして、ガイド学習の研究を一層推進してほしい。

児童会を中心とした自治活動の充実



子どもが進める「ガイド学習」・ICT活用の取組

